



山形中学東京同窓会だより 山形東高東京同窓会だより



(C) SPORTS YAMAGATA21

山形力を全国に！！

今年4月からプロサッカーチーム「モンテディオ山形」を運営する、社団法人 山形県スポーツ振興21世紀協会（通称：スポーツ山形21）の理事長に就任いたしました。どうぞよろしくお願い申し上げます。

当協会は、べにばな国体終了後の1998年に官・民・スポーツ界の協働により産声を上げ、1999年よりプロサッカーリーグのJ2に参戦、2009シーズンからはJ1へ昇格し厳しい戦いを続けております。又、現在、女子駅伝チームとして2名の選手を採用し、全国都道府県対抗駅伝で上位進出を狙うべく、選手は日々練習等に取り組んでおります。更には、県内の子供達にサッカーを通じてスポーツの楽しさを体験してもらおうと、幼稚園や小学校の子供達の巡回指導を事業の柱の一つとして取り組んできております。

今年は、J1昇格2年目となり、ホームゲーム開催（NDソフトスタジアム山形）時には、県外のアウェーサポーターを「おもてなしの心で迎える」取り組みが広がり、地域の温泉組合や商店街組合等を始めとして、いろんな場所や場面で地域の活動が行われるようになってきました。サッカー観戦だけではなく山形県のリピーターを増やす為の積極的な取り組みが、地域

から芽生えてきていることを大変うれしく感じております。

社団法人とは言え、プロサッカーチームを運営する以上、「強い意志」で「前へ」舵を取り、継続的にJ1の舞台で活躍できるように、そして「定着」させていく必要があります。2009シーズンの決算では、年間事業費約11億円とJ1クラブでは最下位であり、他のJ1クラブは20億円を超える規模となっています。山形県内には、他クラブのスポンサーのような全国的な企業も少なく、多くの山形県関係者からの支援が必要不可欠になっています。

私は、当協会の会員制度である正会員、賛助会員、ファンクラブ会員の皆様や、年間シートの皆様、1回でも2回でもご観戦に来場下さる皆様、試合会場に広告看板を掲出して企業の露出や価値を高めてもらう等のスポンサーの皆様、この支援の輪を広げていくことを進めてまいります。事務局スタッフも最小限の人数で活動しており、全ての皆様に顔を出すことは難しいかもしれませんが、精一杯努力しますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

文：川越 進(六七会)

7月8日 東京同窓会総会

新副会長に深瀬夜間部同窓会東京支部長

—平成21年度決算、平成22年度予算など承認—

「幹事」を「代議員」へ呼称変更



議長を務める青柳会長(中央)

今年の総会は、平成22年7月8日17時30分から日本プレスセンター10階ホールにて開催され、平成21年度事業報告・決算案、平成22年度事業計画・予算案が、それぞれ原案通り承認されました。

さらに今年は、年次会の重要性を強調するため、年次会を代表する役員の呼称を従来の「幹事」から「代議員」へ変更しました。

また、夜間部同窓会東京支部との連携を強化し、夜間部同窓生の本活動への参画をより推進するため、副会長に深瀬守巨さん（夜間部同窓会東京支部長・S29・螢雪会）が新たに選任されました。

総会には、梅雨時の不安定な天候にもかかわらず約70名の会員が参加、遠藤副幹事長の司会で始まりました。議長に青柳会長が選任されたあと、谷口幹事長からの議案の説明や報告、質疑応答など、議事が進められました。（事業報告・計画については、会報第60号をご参照ください）

●平成21年度決算（骨子）

決算に関しては、年会費収入が対前年度10%減少する中、期中経費節減努力に努め、繰越金の

若干の減少で止めることができたことなどが、報告されました。

一般会計（収入・支出） 単位：円

	決算額	予算比増減	前年実績比増減
計	5,580,555	76,308	86,639

特別会計（名簿積立金：一般会計より繰り入れ） 単位：円

	決算額	予算比増減	前年実績比増減
計	0	0	0

●平成22年度予算（骨子）

予算については、会費収入を730名（前年同）分を計上し、より一層の財政の健全化を目指すこととしました。

一般会計（収入・支出） 単位：円

	予算額	前年実績比増減
計	5,144,163	-436,392

特別会計（名簿積立金：一般会計より繰り入れ） 単位：円

	予算額	前年実績比増減
計	0	0

本年度懇親会は11月26日

深瀬新副会長のご挨拶の後、今年の懇親会が11月26日に東京ドームホテルで開催される予定であることが報告され、担当幹事を代表して実行委員長の武田浩三さん（山東21回・四六会）が決意表明を行い、会員の参加・協力を要請しました。

最後に、清野和彦さん（山東13回・三山会）のリードで校歌を斉唱して総会は滞りなく終了しました。

講演会**演劇界始め各方面で活躍中****劇作家・演出家・女優 渡辺えり氏**

講演する渡辺えりさん

平成22年度の総会終了後の午後六時半からは、「歩いてきた道、歩いてゆく道、舞台に恋して」というテーマで、劇作家・演出家・女優の渡辺えりさんの講演会が開催されました。

渡辺えりさんは、県立山形西高等学校を卒業されたのち演劇の世界に入り、20年間劇団を主宰、数々の話題作を発表されました。その後も舞台・テレビ・映画で幅広く活躍されておりますが、今年の8月には、舞台「乙女の祈り」で初めての一人芝居に取り組みました。

座右の銘は「後悔するな。反省しろ」

講演では、まず始めに歌丸潤さん（山東23回）との中学時代のエピソードを話されました。

渡辺えりさんが、山形六中の生徒会の事務局員だった2年生のころ、歌丸さんは3年生で生徒会副会長であった。

生徒会の仕事で遅くなったときは、道が凍っている日も大雪の降る夜も必ず自宅まで送ってくれたこと。悩んでる渡辺えりさんには「後悔するな。反省しろ」と激励してくれ、それが今でも座右の銘になっているとのこと。そして、

その歌丸さんとは、何とこの講演会で41年ぶりに再開したとのことでした。

男性ばかりの演劇界に身を置く

渡辺えりさんは、小・中学校のときから演劇を目指していらしたが、父親からは西高に入学しなければ、上京して演劇に進むことは許さないとわれ、必死に勉強して合格したとのこと。

父親始め高校の先生など周りの反対を押し切って上京し、演劇の世界に身を置いたものの、当時は男ばかりの世界で非常に苦労したとのこと。しかし努力の甲斐もあって演劇界で生活できるようになり、現在、演劇界に女性が多く働くようになった礎にもなったと自負しているとのことでした。

ユーモア溢れるお話は、予定の1時間を過ぎても続きましたが、その後の交歓会の時間が差し迫り、残念ながら終了となりました。

交歓会**若手・学生会員も多数参加**

ひとことアピールの若手・学生会員

講演会終了後、同会場で交歓会が開催されました。

青柳会長の挨拶の後、相田山形県東京事務所長が挨拶され、今秋懇親会実行副委員長の赤間秀雄さん（山東21回）の乾杯の発声で交歓会が始まりました。

渡辺えりさんも参加され、講演会で話題となった歌丸さんの挨拶があり、開始早々和やかな打ち解けた交歓会となりました。

交流委員会が2回開催した「若手交流会」の効果か、今までないほど若手・学生会員が参加

しました。さらに、松本交流委員長の司会の元、若手参加者から「ひとことアピール」があり、自身の略歴・現況の報告や同窓会への感想の発表がありました。



渡辺えりさんを囲んで

同期や先輩と談笑する人、渡辺えりさんを囲んでお話す人など、様々に交歓会を楽しみましたが、閉会の時間も迫り、今秋懇親会実行副委員長の後藤透さん（山東36回）の閉会の挨拶でお開きとなりました。

夜間部と緊密交流を図る

副会長 深瀬 守巨（螢雪会）

皆さん今日は！

私は山形東高夜間部同窓会東京支部長の深瀬 守巨と申します。



このたび副会長を仰せつかまりましたので一言ご挨拶を申し上げます。

始まりは「山形夜間中学」から

東高の夜間部は、大正15年4月に「山形夜間中学」が設置されたのが始まりで、昭和18年3月には学制改革により山形県立山形中学校と合併して、同校夜間課程となりました。

その後昭和30年奨学寮の設置、昭和45年には衛生看護科の設置など発展してきましたが、

平成に入ると生徒数の減少など社会情勢が大きく変化し、多くの人材を輩出してきた夜間部も平成11年11月に閉校されることになりました。

東京支部は50年の歴史

学校は、閉校となりましたが夜間部同窓会はその後も続けられ、東京支部でも小規模ながら（構成人員約300名）毎年同窓会を開催し、時には山形から東高校長先生もお招きし、ほぼ50年になります。この間、貴同窓会とは同窓会開催のたびに毎年代表がお互いに参加する等交流をすすめてきました。

近年になりさらに交流を深めるために、貴同窓会に加入することが認められるようになり、夜間部から有志が参加し現在に至っております。

このたび副会長という大役を仰せつけられましたが、まだ事情が十分に解っていませんので、皆様のより一層のご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

私の簡単な履歴を申しますと、昭和25年から29年まで4年間東高夜間部で学び、その後東京都庁に勤務し40数年間都庁で働き平成5年定年退職しました。

その後は民間会社勤務、ボランティア活動などし、現在は、ボランティアで同窓生の経営する印刷会社と次男の経営する測量会社で働いております。

新代議員のお知らせ

7月8日の同窓会総会で承認されました通り、山形東高夜間部同窓会東京支部との連携を強化し、夜間部同窓生の本同窓会活動への参画をより推進するため、同支部員を一つの年次会として扱い、名称を「螢雪会」とし下記の2名に代議員を委嘱しました。

代議員 丹野 弘三 氏

代議員 我孫子 市郎 氏

会費納入状況

平成20年より減少

－全年次で減少傾向！？－

関東地区の会員数は、平成 21 年は 3, 580 名と昨年より微増しています。

会費納入状況は、全体的に減少傾向となり平成 21 年 3 月末で昨年より 73 名の減少となりました。

ご承知のように、会費は、会報「同窓会だより」の作成・送付、懇親会、総会・講演会・交歓会の企画・案内等同窓会の活動を進めていくための費用に充てられております。東京同窓会は、東京および関東 6 県に在住する方々すべてが、ご入会いただいておりますものとして、会報を送付するなどの情報サービスをおこなっております。つきましては、ひとりでも多くの方のご理解をいただき、会費納入にご協力くださるようお願いいたします。

卒業年次	同期会名	年度別納入者数							平均	在籍数	納入率
		H17	H18	H19	H20	H21	計				
大正 6	山中 30	大六会	0	0	0	0	0	0	0.0	1	0.0%
大正 15	山中 39	河清会	0	0	0	0	0	0	0.0	1	0.0%
昭和 3	山中 41	和親会	0	0	0	0	0	0	0.0	1	0.0%
昭和 4	山中 42	昭光会	3	1	1	1	1	7	1.4	3	46.7%
昭和 6	山中 44	孜々会	0	0	0	0	0	0	0.0	1	0.0%
昭和 7	山中 45	暁鷄会	1	1	1	1	1	5	1.0	2	50.0%
昭和 8	山中 46	八昭会	3	2	1	1	1	8	1.6	4	40.0%
昭和 9	山中 47	継久会	3	3	1	2	1	10	2.0	4	50.0%
昭和 10	山中 48	十友会	4	1	0	1	2	8	1.6	7	22.9%
昭和 11	山中 49	昭士会	9	6	0	1	2	18	3.6	9	40.0%
昭和 12	山中 50	五十会	2	2	2	2	2	10	2.0	2	100.0%
昭和 13	山中 51	八紘会	4	2	4	3	2	15	3.0	4	75.0%
昭和 14	山中 52	鴻志会	7	8	6	5	3	29	5.8	10	58.0%
昭和 15	山中 53	金鷄会	3	3	3	3	4	16	3.2	5	64.0%
昭和 16	山中 54	瑞穂会	15	11	10	10	8	54	10.8	18	60.0%
昭和 17	山中 55	昭南会	8	7	6	8	4	33	6.6	19	34.7%
昭和 18	山中 56	青雲会	11	9	6	5	4	35	7.0	18	38.9%
昭和 19	山中 57	御楯会	14	11	11	5	5	46	9.2	23	40.0%
昭和 20	山中 58	万葉会	7	7	4	3	5	26	5.2	26	20.0%
昭和 20	山中 58④	銀河会	13	13	8	12	9	55	11.0	30	36.7%
昭和 21	山中 59④	太平会	20	18	13	13	14	78	15.6	43	36.3%
昭和 22	山中 60										
昭和 23	山中 61	六一会	16	12	8	9	6	51	10.2	53	19.2%
昭和 24	一高 1										
昭和 24	山中 62	ふたば会	27	27	18	20	15	107	21.4	67	31.9%
昭和 25	一高 2										
昭和 23	併中 1	東一会	32	30	16	24	16	118	23.6	119	19.8%
昭和 26	東高 1										
昭和 26	東高 1 西										
昭和 24	併中 2	東友会	39	33	29	26	20	147	29.4	166	17.7%
昭和 27	東高 2										
昭和 27	東高 2 西										
昭和 28	東高 3	東三会	54	55	41	47	49	246	49.2	132	37.3%
昭和 28	東高 3 西										
昭和 29	東高 4	東四会	47	42	28	35	34	186	37.2	120	31.0%
昭和 29	東高 4 西										
昭和 30	東高 5	古稀会	53	49	38	38	31	209	41.8	107	39.1%
昭和 31	東高 6	六翠会	31	29	20	27	16	123	24.6	83	29.6%
昭和 32	東高 7	一行会	33	29	24	25	22	133	26.6	100	26.6%
昭和 33	東高 8	東八会	52	46	38	40	35	211	42.2	98	43.1%
昭和 34	東高 9	東鳩会	31	28	25	20	18	122	24.4	83	29.4%

昭和 35	東高 10	東濤会	42	49	39	42	41	213	42.6	110	38.7%
昭和 36	東高 11	東士会	51	46	37	44	40	218	43.6	106	41.1%
昭和 37	東高 12	東睦会	23	25	16	24	21	109	21.8	90	24.2%
昭和 38	東高 13	三山会	15	17	14	17	20	83	16.6	81	20.5%
昭和 39	東高 14	龍雲会	22	17	18	17	16	90	18.0	79	22.8%
昭和 40	東高 15	笑龍会	26	26	18	21	22	113	22.6	105	21.5%
昭和 41	東高 16	竹馬会	32	22	19	23	23	119	23.8	118	20.2%
昭和 42	東高 17	六七会	23	30	21	26	26	126	25.2	116	21.7%
昭和 43	東高 18	東哉会	18	21	25	20	21	105	21.0	106	19.8%
昭和 44	東高 19	鵬雲会	19	16	12	17	14	78	15.6	89	17.5%
昭和 45	東高 20	翠巒会	11	8	6	14	14	53	10.6	80	13.3%
昭和 46	東高 21	四六会	11	9	8	12	14	54	10.8	68	15.9%
昭和 47	東高 22	主一会	5	9	0	6	4	24	4.8	76	6.3%
昭和 48	東高 23	志也会	12	7	6	8	4	37	7.4	47	15.7%
昭和 49	東高 24	東翼会	6	5	4	7	3	25	5.0	66	7.6%
昭和 50	東高 25	九重会	6	11	3	5	3	28	5.6	65	8.6%
昭和 51	東高 26	互一会	19	20	13	19	19	90	18.0	64	28.1%
昭和 52	東高 27	東紋会	14	12	10	17	10	63	12.6	63	20.0%
昭和 53	東高 28	天馬会	5	4	4	5	7	25	5.0	45	11.1%
昭和 54	東高 29	共一会	5	5	4	4	5	23	4.6	42	11.0%
昭和 55	東高 30	東翔会	6	8	4	8	5	31	6.2	56	11.1%
昭和 56	東高 31	五六会	3	5	3	8	8	27	5.4	46	11.7%
昭和 57	東高 32	槌音会	1	1	0	1	0	3	0.6	37	1.6%
昭和 58	東高 33	継世会	2	4	2	2	1	11	2.2	26	8.5%
昭和 59	東高 34	双翼会	1	1	3	5	6	16	3.2	32	10.0%
昭和 60	東高 35	百東会	4	3	2	3	4	16	3.2	34	9.4%
昭和 61	東高 36	彗琥会	1	3	2	3	3	12	2.4	35	6.9%
昭和 62	東高 37	鴻紀会	4	3	1	4	3	15	3.0	31	9.7%
昭和 63	東高 38	東龍会	1	3	1	3	2	10	2.0	27	7.4%
平成 1	東高 39	魁成会	2	3	2	2	2	11	2.2	44	5.0%
平成 2	東高 40	東駿会	0	0	0	0	0	0	0.0	19	0.0%
平成 3	東高 41	翔洋会	2	3	1	5	1	12	2.4	25	9.6%
平成 4	東高 42	志成会	2	1	3	2	1	9	1.8	30	6.0%
平成 5	東高 43	東鵬会	2	1	3	1	1	8	1.6	22	7.3%
平成 6	東高 44	東阜会	3	3	1	3	2	12	2.4	16	15.0%
平成 7	東高 45	百珠会	2	2	1	3	2	10	2.0	19	10.5%
平成 8	東高 46	東玲会	0	0	0	0	1	1	0.2	19	1.1%
平成 9	東高 47	東凌会	0	1	0	0	0	1	0.2	10	2.0%
平成 10	東高 48	天成会	1	1	1	0	1	4	0.8	10	8.0%
平成 11	東高 49	東珀会	1	1	2	0	1	5	1.0	9	11.1%
平成 12	東高 50	雙紀会	0	0	0	0	0	0	0.0	13	0.0%
平成 13	東高 51	東暁会	0	0	0	0	0	0	0.0	12	0.0%
平成 14	東高 52	東愛会	0	0	0	0	0	0	0.0	4	0.0%
平成 15	東高 53	東魂会	0	0	0	0	1	1	0.2	4	5.0%
平成 16	東高 54	東粹会	0	0	0	0	1	1	0.2	4	5.0%
平成 17	東高 55	東節会	0	0	0	0	1	1	0.2	1	20.0%
平成 18	東高 56	瑞雪会	0	0	0	0	0	0	0.0	4	0.0%
平成 19	東高 57	和成会	0	0	0	0	0	0	0.0	2	0.0%
平成 20	東高 58	重友会	0	0	0	0	1	1	0.2	1	20.0%
	夜間部	螢雪会	-	-	-	-	10	10	10.0	13	76.9%
			945	891	671	788	715	4010	802.0	3580	22.4%

会員数・会費収入増加が課題

総務委員会

委員長 谷口恒俊(山東17回)

総務委員会は、9名のメンバーでスタートし、2ヶ月に1回のペースで委員会を開催し、総会の企画・準備・運営、会計業務、渉外事項、名簿管理、会費の案内・徴収・管理、代議員の皆さんとの連携などに取り組んできました。

総務委員会の運営で心がけたことは、全員参画、全員の主体的行動そして協働です。総会準備・運営ではメンバーみんなが夫々の役割を果たし、円滑に開催することができました。

また、名簿・会費納入状況・総会や懇親会の参加状況などを、タイムリーに把握・管理できるようになりました。さらには、委員同士の連帯感を一層醸成するため、後樂園ラクーアでお風呂に入った後、和やかに懇談するということも実施しました。

この一年で、皆で育む総務委員会に大きく前進したと思っております。

最大の課題は、漸減傾向にある会員数・会費収入です。この一年はあらゆる機会・場を通して、回復に努めたいと思っておりますので、皆さま方のご支援とご協力を切にお願いいたします。

最後になりましたが、私もこの一年で新しい出会い・交流がたくさんできました。「無縁社会」「孤立化」とも言われる今日、同窓会の意義を皆で確かめ合いたいものです。

今秋の懇親会支援がテーマ

企画委員会

委員長 小林義和(山東19回)

当委員会は様々な活動企画、特に催事関係を

担当しており、最大の目標は、秋の懇親会の円滑な実施を図るべく幹事学年の支援にあたることにあります。

今秋の懇親会の運営は四六会と彗琥会の皆さんが当番ですが、キックオフが遅れ心配した一時期もありました。しかし、そこはさすが山東OB、いったん立ち上がれば、速やかに実行委員会を組織し、準備に余念がない現在です。

この7月には、定時総会に合わせ開催する講演会に山形西高等学校の卒業生である劇作家、女優の渡辺えりさんをお招きし、「歩いてきた道、歩いてゆく道 舞台上に恋して」と題して、これまでの御苦労や懐かしい郷土のお話などをお聞きしました。

盛会で、渡辺さんがお持ちになった書籍等もあっという間に完売しました。携わった皆さんに改めて御礼申し上げます。

今後は、ゴルフ競技会をとの要望もあり、他の委員会等と連携し元気な同窓会を目指します。

盛会だった若手交流会

交流委員会

委員長 松本義憲(山東20回)

交流委員会というのは、昨年初めてできたものだったらしい。委員長になって本当に戸惑った。前例がないから、何をやればいいのか判らない。若い世代とのコミュニケーションを取るためのメルマガを発行しようかと色々考えた末、とにかくまずは若い世代で飲んで話をしようということになった。

副委員長の嘉規さんや細江さんのおかげで、これまで若手交流会を2回開催できた。いずれの回も、呼びかけに応じて現役大学生を含めた三十人以上の若手が居酒屋に集まってくれ、役員のご協力もあって、にぎやかに情報交換・異業種交流のようなことができたのはとても嬉しい。

これからも世代間の交流で若者たちが「楽しくて、ためになる」と思えるような場にしていきたい。

また若者のみならず諸先輩も含めて、こうした交流会を通じて、東京同窓会の活動に少しでも関心を持ってもらい、「青春」や「ふるさと」、それぞれにとって大切なものを手繰り寄せるよすがになれば、と願っている。

まだ同窓会デビューしてない人は

<http://www.uzen33.net/>

からクリックして、HP・ブログ・Mixi 等いろんな世界を覗いて下さい。

そして同窓生の皆様、直近の 11 月の東京ドームホテルでの懇親会では、PC を通した私たちでなく、生の HP 委員会のメンバーと是非元気にお会いしましょう。

会報誌への寄稿を期待

インターネットでの交流を活発化

HP委員会

委員長 富本左園(山東17回)

山形東高東京同窓会の HP・ニュースレター配信・ブログ・Mixi・メーリングリストの管理・更新を行っています。六七会を中心に若手含めた 8 人のスタッフでの活動も、早や 1 年が過ぎました。

年代的に一堂に会するのは大変ですが、当委員会では、総会や懇親会での顔合わせ以外は PC で情報交換しながら活動しています。

同窓会を知ったという卒業生から連絡が入ると、HP の URL をお知らせして、ML に登録して貰い、ニュースレターを送り、会報誌を発送します。東京同窓会に関心を寄せて貰って、総会や懇親会・若手交流会への参加を呼びかけ、山形東高を縁とする過去現在未来の 3 次元空間世界を体験・共有して貰いたいと思っています。

現在 ML には約 680 名、Mixi には 72 名と登録者が増加しております。20 代から 80 代まで、心を同じにする事が出来る世界って、そうあるものではないと思います。東京在住の同窓生には、在学中より縦の繋がりの知人が増えたと、年 1 回の集まりを楽しみにしている人もおられます。

広報委員会

委員長 前田好二(山東18回)

会報誌「同窓会だより」を担当して早 1 年、昨年 10 月号、本年 5 月号を発行しました。

同窓会行事の定例記事には役員・委員会のご協力で紙面は埋まるのですが、表紙のふるさと探訪をどなたにお願いするか、年次会など同期会活動の記事をどう入手するかに苦労しています。

やはり、パソコンの画面で見るとよりも冊子を手にとって活字を読むことに魅力を感じて会報誌作りに頑張っています。山形に関する事、同窓生に関する事、母校に関する事などをみなさんに会報誌でお届けできればうれしく思います。

つきましては、会報誌に掲載したいものがありましたら、どうぞ写真・原稿をご送付いただきたく、お願いいたします。

ただし、CM、売り込み等のご遠慮ください。

送付先は、以下のとおりです。

E-mail m-ksms@dream.ocn.ne.jp

住所 227-0062 横浜市青葉区青葉台

1-11-4-6-508

一瞬で高校時代にワープ

—2010年懇親会準備会報告—

2010年懇親会実行副委員長
赤間秀雄(山東21回)

40年ぶりの同級生

「羽前の三山虚空を凌ぐ・・・」懐かしい校歌がよみがえります。山形東高を卒業して40年、あの頃とはまったく違う顔になってしまったであろう同級生に会っても誰だかわかるかな・・・、そんな心配は無用でした。

集まった顔はみんな見たことのある懐かしい顔ばかり。名前はすぐには出てこなかったりもしますが、一瞬で高校時代にワープ！



熱心に懇親会準備会議！？

準備会の始まりは3名から

今年の懇親会の幹事を仰せつかった私たちは、四六会の首都圏在住者に声を掛け、これまでに6回の準備会を開催しました。

3月に開催した最初の会合では、小林東京同窓会副会長から2010年の東京同窓会の懇親会開催準備を始めるに当たって叱咤激励の言葉をいただくとともに、前年の実行委員長であった遠藤さんから関係書類を引き継ぎ、今後の進め方などについて貴重な経験談をお聞きしました。

この時集まった同期のメンバーは3人だけ・・・、この後どうなるのか、ちゃんと準備

はできるのかと不安になったものでした。

しかし、それ以降月に一回会合を開催し、回を重ねるにしたがって協力してくれるメンバーが増え、8月7日の第6回会合には十数人もの同級生が出席してくれました。



準備会やら年次会やら

昨年の資料を参考に準備

毎月同級会を開催しているような雰囲気、和気あいあいと且つまじめに役割分担などを決め、遠藤さんからご教授いただいた昨年の情報を基に、懇親会に出席していただいたみなさんに配布するお土産はどうすっぺか、お酒はやっぱり山形の銘酒〇〇だねとか、芋煮と玉こんにゃくは外さんないずねとか、みんなで年に一度の懇親会を盛り上げようと山形らしいアイデアを出し合っています。

第5回準備会からはジュニア幹事の方々にも参加していただき、幹事一同一致協力して準備を進めているところです。

4人のエバリー演奏も

懇親会当日の式次第など詳細はまだ決定していませんが、今年も東音会の皆さんのすばらしい歌声をご披露いただき、また実行委員メンバーのアイデアで、4人のクラシック演奏グループによる名曲の演奏や彼らと東音会とのコラボレーションなども考えています。

会場には毎年出店していただいている出羽香庵さんの蕎麦・芋煮コーナーもあります。何とか、“来てよかったー”と思っていただけるような会にしたいと全員でがんばっています。

高校を卒業してもう数十年も経っている卒業生の皆さんから、まだ卒業間もない社会人一年生の方々まで、今年も懇親会への皆様の参加をお待ちしております。

山東魂を未来に繋ぐ

新校長からのメッセージ

校長 渡部 泰山

常日頃、同窓会の皆様には、本校生徒への変わらぬ慈愛と朝露のように澄んだ流路となって、ご支援とご指導をいただいておりますこと、深く感謝申し上げます。



三つのC

「絶望の虚妄なること希望に相同じ」惰性と墮落を乗り越えて、「challenge」、「consider」、「control」、三つのCを山東生徒諸君と握りしめ、山東魂を未来に繋げてまいると念じております。

「challenge」は、いうまでもなく、高校生活の高い目標へのあくなき「挑戦」です。

「consider」は、「深く考えること」、すなわち自分で考え、判断して、自立的に行動してほしいということです。よくよく考えれば、

これは他者を「思いやる」ということに通じています。

「control」は、自分をコントロールできる能力を養ってほしいということです。それは、「理性」という言葉に置き換えることもできます。

明日を生きるための三つの力の醸成に努め、山東生の未来を繋げていきたいと思っております。

今後とも、同窓会の皆様には、山東生の良き道標となつていただき、引き続きご支援とご指導下さいますようお願い申し上げます、就任の挨拶とさせていただきます。

<渡部先生の略歴>

- 昭和41年3月 新庄市立明倫中学校卒業
- 昭和44年3月 新庄北高等学校卒業
- 昭和48年3月 立正大学経済学部卒業
- 昭和48年4月 山形県公立高等学校社会科教員として奉職
- 平成15年4月 県教育庁 指導主幹
- 平成17年4月 新庄南高等学校校長
- 平成19年4月 県世界遺産推進室室長
- 平成20年4月 県教育庁 教育次長
- 平成22年4月 山形東高等学校校長

会費納入のお願い

コンビニからの振込もできます

東京同窓会は、会員の皆様の会費によって運営されています。金額は、3,000円/年、同封の振込用紙でお手続きください。

納入方法は、コンビニからも振込むことができます。また、これまでどおり、「ゆうちょ銀行」も利用できます。金額を訂正するときは、「ゆうちょ銀行」をご利用ください。

伝統ある東京同窓会の活動をさらに活発にし、将来に繋いでゆくために、ぜひご協力のほどよろしくお願いたします。

母校からのたより

●山東通信4月号●

平成22年度入学式

4月8日(水)平成22年度入学式が行われ、希望に溢れた新入生240名が式に臨みました。

渡部泰山校長は式辞の中で、「未見の我」即ち、「自分が未だ理解していない、未だ知らざる自分自身」を山東で探求して欲しいと述べて新入生を激励しました。

●山東通信5月号●

9連覇 県高校将棋選手権大会(男子団体)

5月8日県高校将棋選手権大会が天童市で行われ、本校囲碁将棋部男子団体が見事に優勝しました。これで9年連続の偉業であり、15回目の優勝となりました。

新入生歓迎校内駅伝大会開催

4月30日伝統の校内駅伝大会が馬見ヶ崎河川敷で開かれました。

川岸を渡る風が冷たいものの天候は晴れ、桜の花もまだ見事に咲いている河川敷でしたので、走者はみな気分良く走ることが出来たようです。

●山東通信6月号●

充実の研修旅行

1年生の伝統行事である2泊3日の研修旅行が5月23日から岩手県で行われました。

1日目は平泉中尊寺を拝観し往時の栄華を偲んだあと、岩手青少年交流の家に宿泊しました。2日目はあいにくの雨となり終日屋内での活動となりました。3日目は小岩井農場で研修を行ったのち帰校しましたが、この体験を通してお互いの理解が深まり、学年の一層の団結に結びつきました。

県高校総体

優勝 テニス男子ダブルス

優勝 陸上男子400m個人

優勝 陸上男子400m障害個人

優勝 陸上女子400m個人

高校放送コンテスト

優勝 朗読部門、創作テレビドラマ部門

●山東通信7月号●

いざ堂々と全国大会へ

○全国高等学校総合体育大会出場

テニス 男子個人ダブルス

陸上 男子400m・400mハードル

○全国高等学校総合文化祭出場

将棋部門 男子団体、女子個人

囲碁部門 女子個人

放送部門 アナウンス、朗読

○全国高等学校将棋竜王戦出場

男子1名

○全国高等学校放送コンテスト出場

アナウンス部門、朗読部門、ラジオドキュメント部門、テレビドラマドキュメント部門、テレビドラマ部門

●山東通信9月号●

山東祭開催さる

生徒会最大のイベントである山東祭が8月27日から29日まで開催されました。

今年のテーマは、「Feasta!!僕らの三日間革命」。大変暑い天候の中、さらにあつい熱気に包まれた3日間となりました。

28日と29日の一般公開日には、多くの来訪者があり各企画展示とも大賑わいを見せました。

編集後記

青柳会長のもと新体制が発足してから1年余が経過しますが、委員会体制の効果が現れてきています。

今までは、数名の役員が総会・講演会・交歓会・広報等の運営を行ってきましたが、委員会体制になり、もっときめ細かく対処できるようになりました。

特に交流委員会主催の「若手交流会」は、若手・学生に評判も良く、30名余の参加がありました。若手・学生が同窓会を身近に感じしてくれる良い企画と思います。

(K. M)

2010年度 山形中学・山形東高 東京同窓会懇親会のご案内

かつての碧瑠璃の日差しの下、城東に馳せ集まった山東健児。

郷愁に身を浸し、暫しの時空の旅に出てみませんか。

万博よりも熱く、サッカーよりもエネルギッシュに、呑んで語りましょう。山形弁で。

1. 日時 2010年 **11月26日(金)** 午後6時から
2. 会場 後樂園 東京ドームホテル「天空の間」
3. 会費 10,000円
ただし、
 - ① 若年者(学生をのぞく平成5年卒以降の会員) 7,000円
 - ② 同伴配偶者 5,000円
 - ③ 学生 3,000円
4. 催し
 - ① 東音会コーラス
 - ② エバリー演奏(4人のクラシック楽器演奏者)
 - ③ 県産品模擬店等
5. 締切 2010年 **11月5日(金)**
6. 申込 メール、FAX、同封のはがきにてお申込下さい。
FAX **020-4623-4143** 相馬秀一
e-mail shus0211@mail.goo.ne.jp 相馬秀一
7. 幹事 山東21回 四六会 懇親会実行委員長 武田浩三
山東36回 彗琥会 懇親会実行副委員長 後藤 透

皆様お誘い合わせの上ご参加くださいますようお願い申し上げます。

※東京同窓会ホームページもご覧ください。 <http://www.uzen33.net/>

山中・山東 東京同窓会 第61号

発行：平成22年5月1日 千代田区平河町2-6-3 山形県事務所内

発行人：青柳桂一

編集：前田好二